

# 生横濱

## 陽気ぐらしの道具

親神様は我々人間が陽気ぐらしをするために、この身体をお貸し下さり、広い宇宙の中の地球上にその環境を作って下さいました。

その人間社会の中では科学が進歩し、近頃は「AI」（人工知能）というのが注目されております。既に利用したことがある方も多いと思います。先日、試しに「陽気ぐらし」とは？と

立教187年  
10月号  
(通算第284号)

発行者  
天理教生横濱分教会

いう質問をしてみました。その時の回答を紹介します。

「陽気ぐらし」という言葉は、様々な文脈で用いられますが、一般的には、明るく楽しく、そして周囲の人々と協力し合いながら生きることを指します。天理教では、この「陽気ぐらし」が理想的な生き方として説かれており、その意味合いはより深く、多岐にわたります。

天理教において、「陽気ぐらし」は単なる心の状態ではなく、

神様とのつながりを深め、人間関係を円滑にし、そして社会に貢献していくための実践的な生き方です。

天理教では、神様は全ての人々に幸福を願っており、その幸福を実現するための道が「陽気ぐらし」であると説きます。神様とのつながりを意識し、感謝の心を持って日々を送ることが、陽気ぐらしの基礎となります。

「陽気ぐらし」は、自分一人だけで完結するものではありません。周囲の人々と協力し合い、助け合い、そして共に喜びを分かち合うことが大切です。家族、友人、そして社会全体との良好な関係を築くことが、陽気ぐら

しの実現に不可欠です。

AIがここまでの確にお道の教えを回答するとは思っておりませんでした。何より驚いた事はAIが「陽気ぐらし」||「天理教の教え」と認識(?)している事です。我々はもっと胸を張って「陽気ぐらし」の重要性を世界に伝えて行くべきだと思います。

回答の全文は上記の数倍に及びます。皆さんもAIを試してみませんか?もしかしたら、布教の一助にもなるかもしれせん。

(会長)

## 私の天理教

教祖一四〇年祭を迎えるにあたり「私の天理教」と題してお話をさせていただきます。

私は一九六二年四月の上旬ごろの佐々木明信、晴美の営みにより一九六三年二月一五日に生を受けました。その後、保育園、小学校、中学校、高校、大学と進ませていただき、横浜の会社に就職、そして真下育久さんに呼ばれて現在の会社に転職し、その後会社を引継ぎ現在に至っております。

今回、信仰とは?天理教とは?ということ初めて真面目に考え、振り返ってみますと、教会に生まれ育ったにも拘らず、残

念ながら、にをいがけやおさづけによる人助けといった、信仰らしいことは何も出来ていないと思いました。ただ、現在に至るまで大病もなく、家内と二四歳で結婚し三人の子供を授かり、現在では孫が三人いることを考えますと、私としてはものすご



く幸せな人生を送れているなど感じております。多分、前々会長や前会長が導いてきてくれたお陰だと感謝しております。

年祭を迎えるにあたり、十年間同じ信仰では大変であろう、せめて三年千日頑張りなさいとのことで、現在、ご本部では三年千日を打ち出し年祭活動をしつかり行うようにと動かれていきます。ただ、実際に親神様はどう思われているのかなと少々疑問に思います。年祭の節目だからではなく、一生涯日々を大切に、生かされている事に感謝し、陽気暮らしをする事を望まれているのだと思うからです。

私は毎朝五時半頃、和代と一緒に教会に行き参拝し、お袋が

淹れてくれるお茶を一杯飲み出勤しております。これも私なりの信仰かなと思っております。お袋に顔を見せ、今日も元気ですよと振舞うだけでも多分喜んでくれているのだと思っておりますし、親神様もその小さな親孝行の姿を見て喜んでくれているのではと思っております。また、仕事をしても、携わる方々がどうしたら喜んでくれるのかなといつも考えています。

人はそれぞれ置かれている立場が違います。私は今まで通り自分の出来ることを精一杯行い、一四〇年祭を迎えたいと思います。

最後に、一日の中で一番幸せを感じることを言わせていただ

きます。少々お聞き苦しい話となりますが、トイレで大きい方をした時に今日も無事うんこが出ました有難う御座いましたと幸せを感じ、大変感謝をしております。

本日は生横濱分教会の大祭日です。上級の会長様、有難う御座います。私は和代と一緒に少々違う空の下に居りますが、感謝の気持ちを忘れずに通っております。

(佐々木邦明)



## 真心

10月5日、教区において「学生層育成者講習会」が開催され、兵神大教会長様のご登壇下さいました。まだまだ、育成される側の私が受講させていただきましたが、信仰の上に大事なことが沢山あると感じましたのでその一部を参考に書かせて頂きます。

逸話篇七「真心の御供」では、お餅の御供を持ってこられた2人の信者さんに対しての教祖のご対応が描かれています。ある信者さんは裕福な家庭で、お餅が余ったので供えに来た。その一方、ある信者さんは貧乏だったがやっとの思いで搗けたお餅をまずは神様にお供えしようと

持ってきた。おやさまは後者のお餅はすぐに神様にお上げしてくれと言ってお喜びになりましたが、前者のお餅など高慢心で供えられた物についてはたとえ召し上がられても「要らんに無理に食べた時のように、一寸も味が無い」と仰せになるのが常でした。

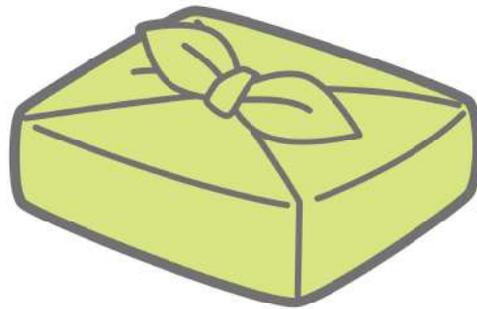
では、親神様、おやさまが味わわれる「味」とはいったい何でしょうか？

それは、この逸話の題

にあるように人の「真心」だということ。夫婦や親子、友達や同僚が、一れつきようだいの真実に目覚めて、互いに真心を尽くし合い、助け合っていく。そんな姿を見たくて、味わいた

くて親神様は人間をおつくりになりました。

私たち人間も誰かが誰かのために真心を尽くしてお世話取りをしている姿を見ると素敵だなと感じると思います。



現に世界中でヒットするアニメやドラマ、映画は大概誰かが誰かのために必死に真心を尽くしている姿が描かれています。そう考えるとやはり、

人間も真心が好物だということとがわかります。それは、親神様が人間と一緒に楽しみたいと思っこの世と人間をおつくりになられたからです。

親神様は現在も変わることもなく、人間が真心を尽くし合えるよう万全の御守護をもってお見守り下さっています。それは、親神様からしてみると、世界中の人間が皆我が子であって、ただただ可愛い我が子であるという親心でいっぱいだからです。

その大きな親心にお応えさせていただけよう、親神様、おやさまに味わっていただけ「真心」をお互いに尽くし合う互い立て合いたすけ合いの陽気ぐらしの道を一步一步歩んで行きたいと思えます。

(佐々木佑人)

## ご報告

・にをいがけ強調月間  
先月はにをいがけ強調月間でしたので、9月月次祭後に神名流しをさせていただき、また29、30日のにをいがけデーに際しても神名流しをさせていただきま



・Kitchenあんぶれら  
9月14日は教会において、フードパントリーとお食事を提供させていただきました。また、食事後に子どもたちが教会で育てているゴーヤやきゅうりの収穫体験をしてくれました。赤くなつたゴーヤの種も食べられて、良い体験になったと思います。



・カレーの日  
 1日の御霊祭後、地域食堂を開催し、来られた方々にカレーを提供させていただき、楽しい交流の場となりました。毎月1日の恒例行事にする予定をしていますので、お手伝いなどしていただける方はどうぞ教えてください。

お知らせ

・ご本部秋季大祭団参  
 今月はご本部秋季大祭です。教会から車を出す予定ですので一緒にいられる方はご連絡ください。

・よふぼく一斉活動日

11月4日に生横濱分教会を会場にしてよふぼく一斉活動日が開催され、保土ヶ谷支部おつとめ総会を行わせていただきます。ご都合のつく方は事前にご連絡をよろしくお願いたします。



今月の予定

11	9	7	6	4	3	1	11月	30	27	26	23	19	16	11	10月
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
生横濱月次祭	みんなの食卓	比企宅講社祭	太田宅講社祭	一斉活動日	邦明宅講社祭	生旭月次祭	みんなの食卓	御霊祭	災救隊教区訓練	康靖宅講社祭	ご本部秋季大祭	大教会秋季大祭	みんなの食卓	生田川秋季大祭	益元宅講社祭

立教百八十七年九月月次祭祭文

しすまい月をそおの間と時えの教い下つにきせだ親めだの場親りぐ表旬親宏親こ  
 上よした次心う打支はし旬を道祖申さと寄まてい神奉い中の心がらに刻神久神れ  
 げうてだ祭掛しち部、てで実具年しいめりすいた様仕たに御にたしお限様慎天の  
 まに、き終けた出に、す、踐衆祭上まさ集。たおの者定も用添くへ現のにん理神  
 す御真ましたさ時しお全中。しと活げしせい御だつ心参め今にわ、とれ到は、申  
 。守のす後せ旬いい教で特、し動ます。親い道に、め一者日のめて、勿おに来、申  
 護陽。にてにたて一もにたてはす。親い道に、め一者日のめて、勿おに来、申  
 の気何教い当だ布齊九このすの、神たのは九をつ一柄吉励い、ないきり共、界上御鎮  
 程ぐ卒会た教いて活を二の月一自私様だ子種月真に同に日また、極さた、に、れつす。  
 をらこ周だ会て動い十八の月九条をちにもまもの月にれ吸た、てけるみでござい、ます。  
 、しの辺くでおりをが八日は歩めう、おす達物次且るをりこいるます御条のし、ろと、の思  
 一世心で所は展け二十九日三ごて十日進間、勇真がを祭つよ合まのたよう、心、の、程、は、て、こ、の、召、から、  
 同界定の存積。す。一。九。日。三。ご。て。十。日。進。間。、勇真がを祭つよ合まのたよう、心、の、程、は、て、こ、の、召、から、  
 とがめ神で極。す。一。九。日。三。ご。て。十。日。進。間。、勇真がを祭つよ合まのたよう、心、の、程、は、て、こ、の、召、から、  
 共一を名ご的。る。よ。と。日。三。ご。て。十。日。進。間。、勇真がを祭つよ合まのたよう、心、の、程、は、て、こ、の、召、から、  
 に日お流ぎな。よ。と。日。三。ご。て。十。日。進。間。、勇真がを祭つよ合まのたよう、心、の、程、は、て、こ、の、召、から、  
 謹も受しい神。よ。と。日。三。ご。て。十。日。進。間。、勇真がを祭つよ合まのたよう、心、の、程、は、て、こ、の、召、から、  
 ん早けをま名。よ。と。日。三。ご。て。十。日。進。間。、勇真がを祭つよ合まのたよう、心、の、程、は、て、こ、の、召、から、  
 でく取実す。よ。と。日。三。ご。て。十。日。進。間。、勇真がを祭つよ合まのたよう、心、の、程、は、て、こ、の、召、から、  
 お実り施。よ。と。日。三。ご。て。十。日。進。間。、勇真がを祭つよ合まのたよう、心、の、程、は、て、こ、の、召、から、  
 願現下さ本。よ。と。日。三。ご。て。十。日。進。間。、勇真がを祭つよ合まのたよう、心、の、程、は、て、こ、の、召、から、  
 いしさせ日実。よ。と。日。三。ご。て。十。日。進。間。、勇真がを祭つよ合まのたよう、心、の、程、は、て、こ、の、召、から、  
 申まいても施。よ。と。日。三。ご。て。十。日。進。間。、勇真がを祭つよ合まのたよう、心、の、程、は、て、こ、の、召、から、

胡弓	三味線	小琴	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぼん	笛	ておどり	地役	献饌	指図	賛者	扈者	祭主
勝田好子	佐々木千鶴		比企靖章	佐々木佑人	江原慶子		佐々木和代	前会長夫人 佐々木邦明 真下育久	佐々木雅敏	座りづとめ	佐々木邦明	比企靖章	佐々木邦明	会長
勝田好子		真下育久	江原慶子	佐々木邦明	前会長夫人		佐々木千鶴	佐々木和代 佐々木雅敏 比企靖章	佐々木佑人	前		佐々木佑人	佐々木雅敏	
勝田好子		真下育久	前会長夫人	佐々木邦明	江原慶子		佐々木千鶴	佐々木和代 佐々木佑人 佐々木雅敏	会長夫人	後	佐々木佑人	比企靖章	佐々木雅敏	伝供

祭典役割

兵神大教会



## 教祖140年祭 年祭活動の方針

# 教祖のひながたを手本に 「明るい心」で通りきろう

### 【実践目標】

#### 一、身上おたすけ

身上のたすかりを願って動き、  
親神様・教祖のお働きをお見せ頂こう

#### 一、人だすけ

人のたすかりのために自分の時間を使おう

## 後編 記集

みなさんこんにちは。  
暑い暑いと言っていた日々  
もなんだかんだ過ぎ去り、  
湯舟が恋しくなる季節がやつ  
てきましたね。

今月は会長と邦明おじちゃんに原稿を  
お願いさせていただきました。原稿を寄  
せて下さりありがとうございます。  
先月の話ですが、教会のきゅうりの収  
穫が始まった頃、立て続けに肥料を与え  
たら枯れてしまいました。やはり、欲に  
欲を重ねて程々のラインを超えてしま  
うと何事も上手くは行かないようです。た  
だ、ひのきしんに関しては、いくらやっ  
ても「欲ではなく、真実の働きやで。」  
と、神様のお受け取りがあると仰ります。  
今度からは、良く育ててもらいたいと思っ  
たら自分が勇んでひのきしんをして神様  
に勇んでいたかどうかと思います。 佑人